

## 平成25年度第2回北海道後期高齢者医療広域連合運営協議会 議事概要

### 1 開催日時・場所

平成25年10月15日（火） 18:00～19:00

札幌市中央区南2条西14丁目 国保会館 4階 理事会室

### 2 次第

(1) 開会

(2) 事務局長挨拶

(3) 議題

① 平成24年度事業実績及び各会計決算について

【資料1】平成24年度北海道の後期高齢者医療

② 収納対策について

【資料2】収納対策について

(4) 閉会

### 3 出席者

別紙1 出席者名簿のとおり

### 4 議事要旨

別紙2 議事要旨のとおり

## 平成25年度第2回北海道後期高齢者医療広域連合運営協議会出席者名簿

平成25年10月15日

## 【委員】

区分	団体名等	役職名	氏名	委嘱	備考
学識経験を有する者又は公益に関する団体の役職員	学識経験者		まつむら みさお 松村 操		
	北海道市長会	参事	ひらおか しげる 平岡 茂		
	北海道町村会	政務部副部長	くまがい ひろし 熊谷 裕志		
	北海道国民健康保険団体連合会	事務局長	しみず ようじ 清水 洋史		
	北海道病院協会	事務局長	かわかみ しげる 川上 茂		欠席
	社会福祉法人北海道社会福祉協議会	常務理事	はやし みつひこ 林 光彦		
	北海道老人クラブ連合会	常務理事	ふじばやし いきお 藤林 功		
	公益社団法人北海道シルバー人材センター連合会	常務理事	ふくち ひろし 福地 宏		欠席
保険医又は保険薬剤師等の団体の役職員	一般社団法人北海道医師会	常任理事	はしもと よういち 橋本 洋一		欠席
	一般社団法人北海道歯科医師会	常務理事	さくらだ もとあき 桜田 元樹		
	一般社団法人北海道薬剤師会	常務理事	かつら まさとし 桂 正俊		欠席
保険者又はその組織する団体の役職員	健康保険組合連合会北海道連合会	常務理事	いわさき のりふみ 岩崎 教文		
	北海道医師国民健康保険組合	理事長	あから まさみ 赤倉 昌巳		欠席
	全国健康保険協会北海道支部	業務部長	ひらの おさむ 平野 修		
	地方職員共済組合北海道支部	事務長	もりもと のりあき 森元 紀昭		欠席
被保険者等で公募に応じた者			いづか こうじ 石塚 康治		
			たにおか やすのり 谷岡 康徳		
			なかい かずお 中井 和夫		欠席
			みうら まさよ 三浦 雅代		欠席
			わたなべ ていじろう 渡邊 貞治郎		

## 【事務局】

役職名	氏名	備考	役職名	氏名	備考
事務局長	おおい まさと 大居 正人		企画班長	きかい まし 酒井 仁	
事務局次長（総務担当）	よしざわ すゑたか 吉澤 季孝		企画班調整担当係長	おの よしとも 小野 良智	
事務局次長（調整担当）	はまつか けんいちろう 浜塚 研一郎		資格管理班長	まつした せいぢ 松下 正直	
事務局次長（業務担当）	よしおか まさひこ 吉岡 雅彦		資格管理班収納対策担当係長	あべ まさこ 阿部 恭子	
総務班長	ぬまた ともひで 沼田 智英		医療給付班長	いづみ たかし 堀 隆司	
総務班会計担当係長	くさうら ひろき 草浦 弘樹		医療給付班保健事業担当係長	むらた つとむ 村田 務	
			電算システム班長	いけだ つよし 池田 剛	

## 平成25年度 第2回運営協議会 議事要旨

質疑応答要旨（○：事務局 ■：委員）

## 【議題1 平成24年度事業実績及び各会計決算について】

- 資料1、2ページ目の1の「(3)年齢区分別」の表で、再掲欄では「現役並」、「低所得者Ⅰ」、「低所得者Ⅱ」という項目となっているが、その他の部分も記載してほしい。
  - この表の中では、「現役並」、「低所得者Ⅰ」、「低所得者Ⅱ」の部分の特筆しており、その他は省略している。今後、記載の適否を含めて表示の方法を検討したい。
  
- 医療費は前年から2.19%増だが、1人当たり医療費は減っている。これはどういふことか。
  - 被保険者が増加しているので全体の医療費は増加する状況にある。
  
- 医療会計の収入で支払基金交付金という項目があるが、これは各保険者が拠出している後期高齢者支援金の受け入れであり、「後期高齢者医療費交付金」という名称になるので、正しく記載してほしい。
  - この名称については、後期高齢者医療制度が始まった当時の、平成20年に厚生労働省から示されたものを引用している。各保険者から支払基金を通じて頂いていることも十分理解しているが、名称変更の可否については改めて検討する。
  
- 資料1、16ページの平成24年度の各会計決算の支出の「高額療養費」の金額と、資料2、2ページの「3.高額療養費等の状況」の金額は付合しているが、資料1、2ページの「2.(1)医療費の内訳」の金額である763,576,332円に見合う数字は、資料2、16ページの決算書の中では見あたらない。なぜ、決算書の中ではその数字を記載しないのか。要望として、決算書にも同様の数字が記載されることを望む。
  - 資料1、2ページの医療費では、被保険者の自己負担分等、医療に要した経費全体を記載しているが、広域連合の決算は被保険者の自己負担分等は含まれず、広域連合が支出した経費の記載となっている。

## 【議題2 収納対策について】

- 資料2の全国収納率推移の中で、厚生労働省の速報値を取り上げているが、「平成23年度」という表記になっている。1年遅れているように見えるが、これは誤りか。
  - 正しい数値である。国から発表された最新の速報値は、平成23年度のものであり、平成25年の1月に発表された。
  
- 収納率の全国順位について、非常に高齢化が進んでいる県の1つである島根県が1位を維持しているようだが、何か特別な背景はあるのか。
  - 様々な要因があるとは思いますが、全国的にみても、特定の要因が収納率の高さの起因となっているという確実なデータは今のところはない。島根県についても現段階では不明である。
  
- 市町村納付相談支援事業の国の交付金の関係で、採択は手を挙げた市町村からすることになるのか。また、そうであれば手を挙げる市町村は多いのか。
  - 市町村に募集をし、22年度から24年度については、それぞれ1市町が手を挙げている。25年度については、3市から応募があり、事業の要件を満たした2市について、広域連合で国へ申請し、両市とも採択された。
  
- 市町村納付相談支援事業の国の交付金の関係で、この経費は人件費相当の費用なのか。
  - 函館市では、臨時職員の賃金、社会保険料、交通費などの必要経費を計上し、全て補助されている状況である。
  
- 今後の取り組みとして、保険料の口座振込の推進を、各市町村に指示していくことが挙げられる。例えば医療費通知に記載するなど。あらゆる機会に口座振込をPRしてもらいたい。
  - 医療費通知については希望者のみの郵送となっているが、効果等も含めて今後検討

したい。

■ 滞納繰越分の最終的な処理はどうなるのか

○ 市町村においての不納欠損となる。

■ 和寒町の健康診査受診率は45.84%で全道1位であり、医療費については全道で176番目の費用となっている。この事例のように、健康診査の受診率と医療費には相関があるのか。

○ 健康診査の受診率が高く医療費が低いところもあるが、逆に健診受診率が高く医療費が高いところもあり、必ずしも受診率が高いところで医療費が低くなるという傾向までは出ていない。和寒町の受診率は、地道な町の活動が実を結んだ結果と言える。広域連合としては、実践事例集の中で6市町村の効果的な取組みを紹介しているが、和寒町はそのうちの1つである。

■ 滞納繰越分の欠損処理の関係で時効は何年間になるのか。

○ 2年間となる。督促状などを出して時効を中断することも可能である。